

堺製油所 (2005年3月31日現在)

所在地	大阪府堺市築港新町3-16
操業開始年月	1968年10月
面積	1,254,603㎡
社員数	187名
原油処理能力	80,000バレル/日
ISO9001認証取得	1997.3.14認証取得
ISO14001認証取得	1998.3.20認証取得



堺製油所について

堺・泉北臨海工業地帯に位置する当製油所はLPG、ガソリン、ナフサ、灯油、ジェット燃料、軽油、重油、アスファルトといった石油製品を生産し、近畿2府4県を中心としたお客様に供給しています。大消費地である京阪神を背後に控え、陸上出荷の比率が高いこと、関西空港に近く同空港へのジェット燃料供給基地として位置付けられていることが当所の特長です。

- 環境への取り組み：環境先進製油所の実現に向け、サルファーフリー自動車燃料など環境にやさしい製品の供給はもちろんのこと、所内燃料のクリーン化（ガス専焼）によるNOx・SOx排出の最小化、3Rの推進による廃棄物の徹底削減、省エネの徹底によるCO₂排出抑制など事業活動にかかわる環境負荷の徹底低減に努めています。またグリーンオフィス化推進などを通じて所員の環境マインドの醸成を積極的に推進しています。
- 安全への取り組み：安全・安定操業の維持発展は当所の最重要課題のひとつです。全社的な知見や安全管理の仕組みを集約した「安全管理システム」の運用により継続的に進化する安全管理に取り組んでいるほか、万一への備えとして多種多様な災害に対する防災戦術の強化や訓練の充実にも努めています。
- 地域社会に対する活動：毎月実施している周辺道路の清掃、地元少年野球チームへのグラウンド提供、地元住民を対象としたテニスクールの開催（年間2回）を通じ、地域住民との交流および地域社会への貢献に努めています。



堺製油所所長
丸川 元

環境保全活動

- 省エネ
「高圧蒸気スチームトラップの廃熱回収装置の設置」「蒸気使用適正化のための蒸気配管の改造」等による省エネ
- 環境関連設備
「ガソリン脱硫設備」の導入（サルファーフリーガソリンの供給）ほか

安全衛生活動

- 大整備・大型設備（ガソリン脱硫設備）導入
製造・保全両部門一体での徹底した工程管理・工事品質管理・現場教育等により無事故・無災害で実施
- 未然防止（ソフト対応）
「所長・副所長安全懇談会」（運転員と所長・副所長との意見交換会）の実施
ほか

地域コミュニケーション活動

- 所外清掃（年2回、約150名参加）・ボランティア清掃（年10回、毎回約30～40名参加）
- 連合町会の盆踊り大会や石津太神社やっさい・ほっさいへの参加
- テニスクールの開催（年2回）
ほか



環境関連資格保有者数

公害防止管理者（大気）	17名
公害防止管理者（水質）	13名
公害防止管理者（騒音）	2名
公害防止管理者（振動）	1名
危険物取扱者（甲・乙種）	265名
高圧ガス製造保安責任者（甲・乙種）	166名
エネルギー管理士（熱）	14名
エネルギー管理士（電気）	3名
特別管理産業廃棄物管理責任者	2名
環境計量士	2名
ボイラー特級	3名
ボイラー1,2級	189名

2004年度製油所見学者数 **15件 171人**

労働無災害記録（延べ時間）（2004年12月現在） **1,515千時間**

PCB保管状況 **高圧コンデンサー 15台**
その他

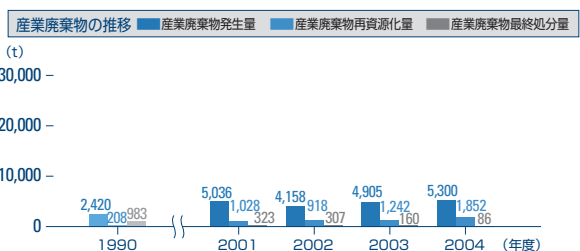
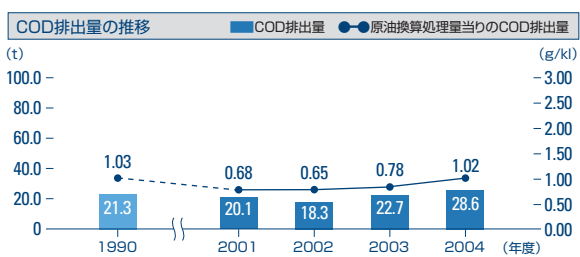
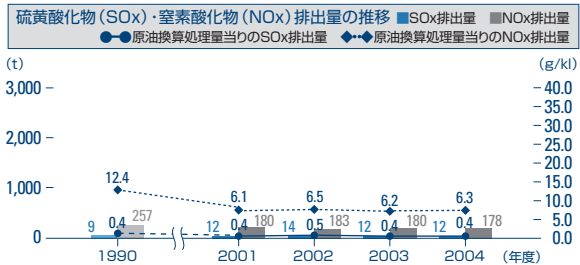
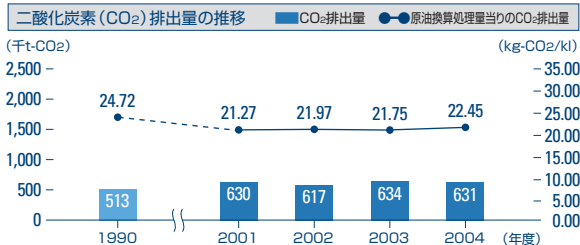
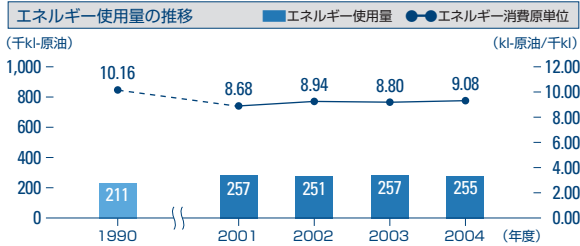
法規制物質

大 気	物 質	規制値	2004年度実績	
			最大	平均
	NOx (m³N/時) (総量規制)	50.028	16.00	9.97
	SOx (m³N/時) (総量規制)	48.011	16.24	0.5
	ばいじん (CG/EB) (g/m³N)	0.03	定量下限未滿	

水 質	物 質	規制値	2004年度実績	
			最大	平均
	COD (kg/日) (総量規制)	186.8	128.49	78.46
	COD (mg/l)	15 (10)	9.8	8.3
	SS (mg/l)	40 (30)	定量下限未滿	
	油分 (mg/l)	2	定量下限未滿	
	窒素 (kg/日) (総量規制)	206.02	99.18	36.06
	窒素 (mg/l)	35	4.0	3.0
	リン (kg/日) (総量規制)	24.87	2.383	0.659
	リン (mg/l)	1.5	0.635	0.190
	フェノール類 (mg/l)	2	定量下限未滿	

()内は日間平均値

環境パフォーマンス (エネルギーなど)



環境パフォーマンス (PRTR)

PRTR対象物質	単位	排出量				移動量
		大気	水域	土壌	合計	
エチルベンゼン	kg/年	130	0	0	130	0
キシレン	kg/年	630	0	0	630	0
コバルト及びその化合物	kg/年	0	0	0	0	360
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg/年	0.3	0	0	0.3	0
トルエン	kg/年	1,700	0	0	1,700	0
ニッケル化合物	kg/年	0	0	0	0	1,200
ベンゼン	kg/年	670	0	0	670	0
モリブデン及びその化合物	kg/年	0	0	0	0	2,000
亜鉛の水溶性化合物	kg/年	0	1,200	0	1,200	0

※上記の他、2-アミノエタノールは、1,000kg/年以上の取り扱いがありますが、排出量および移動量はすべて0kg/年となっています。

環境会計

環境保全コスト (百万円)		2004年度	
項目		投資額	費用額
1事業エリア内コスト	公害防止コスト	44	713
	地球環境保全コスト	8	2,296
	資源循環コスト	0	109
2上・下流コスト	グリーン購入によるコスト	0	0
	製品の環境負荷低減コスト	3,760	6,131
	製品の低硫黄化	(3,446)	(3,469)
	ガソリンの有害物質代替	(314)	(2,662)
3管理活動コスト		2	61
4研究開発コスト		0	0
5社会活動コスト		0	0
合計		3,814	9,310

再生紙の購入費 1 (百万円)

経済効果 (百万円)

項目	2004年度
省エネルギーによる節約額 (コージェネレーションによる節約)	561
合計	561

環境保全効果

項目	2004年度	
	環境負荷削減 (前年度-当年度)	
	濃度・原単位	負荷量
①事業エリア内の効果		
事業活動に投入する資源に関する効果		
エネルギーの投入	▲0.28(kl-原油/千kl)	45 (TJ)
水の投入	▲3 (kg/kl)	122 (千t)
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果		
大気への排出	CO ₂ ▲0.70 (kg-CO ₂ /kl)	3 (千t-CO ₂)
	SOx	0.0 (g/kl) 0 (t)
	NOx	▲0.1 (g/kl) 2 (t)
	ベンゼン	0.00 (g/kl) ▲0.11 (t)
水域への排出	COD ▲0.24 (g/kl)	▲5.9 (t)
廃棄物の排出	産業廃棄物発生量 ▲20 (g/kl)	▲395 (t)
	産業廃棄物再資源化量 ▲23 (g/kl)	▲610 (t)
	産業廃棄物最終処分量	2 (g/kl) 74 (t)
②上・下流の効果		
製品の環境負荷低減効果		
製品の低硫黄化	(硫黄分:質量%)	(潜在SOx量:t)
ハイオクガソリン	▲0.0001	▲1
レギュラーガソリン	0.0006	7
ナフサ	0.0117	26
ジェット燃料	▲0.0262	▲150
灯油	0.0004	3
軽油	0.0012	17
A重油	▲0.0325	▲134
C重油	▲0.1977	2,399
LPG	0.0001	0
合計	0.0201	2,167
ガソリンの低ベンゼン化	▲0.0588 (容量%)	▲909 (t)
製品使用時のCO ₂ 排出量	0.0098 (t-CO ₂ /kl)	324 (千t-CO ₂)